

みずの よしひこ 水野 良彦の政策スローガン

- 物価高対策** 物価高に負けない、所得増加を実現します。経産省時代に培った経験と先見性で、物価高に迅速に対応し、即効性ある対策を打っていきます。
- 子育て支援** 教育費用の抑制、共働き支援を実現します。働き盛りの若い世代・世帯の方が社会的な枠組みを創造していきます。

- 災害対策** 災害に備え災害に強い、安全安心なまちを実現します。災害に強い都市計画、互いに共助できる地域のつながりを構築し、備え万全の政策を進めていきます。
- 年金介護** 社会保険こそ「信なくば立たず」信頼できる仕組みを目指します。生活に困らない年金や安心して任せられる介護を実現するため、皆様の声を反映させていきます。

経歴	平成4年 3月 愛知県私立立東高等学校卒業	平成27年 10月 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課事業企画官
	平成8年 3月 東京大学法学部第1類卒業	平成29年 7月 中小企業庁産業環境部企画課長
	4月 通商産業省入省(資源エネルギー庁公益事業部)	令和4年 7月 製造業局化学物質管理課長
	平成12年 10月 外務省在潘陽日本国総領事館	令和6年 7月 内閣府健康・医療戦略推進事務局参事官 歴任
	平成19年 7月 米国留学(シラキュース大学)	9月 公募に応募し、自民党愛知県第3選挙区支部長に選任
	平成25年 7月 宮崎県警察本部警務部長	

プロフィール

昭和48年12月18日生まれ 50歳
名古屋市出身 東海中学・高校卒業

- スポーツ/陸上競技部(短距離)
- 第28回宮崎青島太平洋マラソン完走経験あり
- 趣味/食べ歩き
- 座右の銘/信なくば立たず
- 家族構成/妻1人、子3人(大1、高3、中2)
- 学歴/東京大学法学部卒業
- 職歴/経済産業省出身・元内閣府参事官



水野 良彦

自民党公認
よしひこ

自民党愛知県支部 ホームページ はこちら

愛知県第3選挙区支部 ホームページ はこちら

水野良彦支部長 Instagram はこちら

日本をなめるな!

私たちはまだやれる。日本の未来を諦めない。

上がる物価と税金、上がらない給料と気分。もう先進国と名乗れない経済の低迷。世界に誇るべき技術力を持つ日本中小企業の衰退。自分たちの利益と保身しか興味がない政治家の劣化。真実を報道しないマスコミ。止まらぬ少子化、消えぬ地方。輸入頼みの日本の食料。後戻りにされる環境保護。解決しないエネルギー問題。いじめや自殺が増える学校や会社。子供も大人もどんだん生きている社会。こうした日本の弱体化を持っていくかのように、土地もインフラも企業も外国資本に買われ、大量の移民が流入する。このままでは日本が日本でなくなる。もう見過ごしてなんではいけない。

参政党公約2024 3つの決意と7つの行動

- | | | |
|--|--|---|
| 決意1 奪われる日本の国土と富を護り抜く。 | 決意2 失われる日本の食と健康を護り抜く。 | 決意3 壊れる日本の教育と国家アイデンティティを護り抜く。 |
| 行動1 積極財政と減税による経済成長で失われた30年に終止符を打つ。 | 行動3 輸入依存から脱却し、食料危機への備えを強化。 | 行動5 日本の国柄と利益を守る。国家アイデンティティの確立。 |
| 行動2 外国資本による日本の買収と過度な移民受け入れに歯止めをかける。 | 行動4 ワクチン薬品問題を党をあげて追究し、被害救済申請の負担軽減と審査の迅速化。 | 行動6 若者が未来の社会を動かす国へ、16歳からの投票権。 |
| | | 行動7 自民党の憲法改正案に反対し、国民自らが憲法を創る「創憲」を推進。 |



杉本 よしゆん

すぎもと
参政党公認



比例も参政党へ

愛知県名古屋支部出身。愛知淑徳大学英文学部卒業後、結婚を機に自営建築業に従事。コロナ禍より国内外の情勢収束、様々な問題の正し「情報」届けるとともに、強く良き日本を未来につなげていこうという思いで活動。

47歳

いま、日本の政治に必要なのは、私たちが安心して生活ができる土台づくりです

手元のお金をみて、心配する生活が続いています。けがや事故、病気になれば、医療費だけではなく、収入減に直結し、余裕をもって安心して休むこともできない。私たちが安心して生活をはざごったのは、自民党の腐敗政治です。働く人の最低賃金を引き上げ、中小企業への税制優遇を通じて、全ての人の雇用を守り、賃金の底上げから始めたいといけません。

近藤昭一の6つの柱

- 子育て支援** 親の貧困は、そのまま子どもの貧困に直結する。お腹をすかしている子どもたちが、私たちの目の前にいる。7人に1人が「貧困」であり、一人親家庭では2人に1人です。学費補助や返済なくしていい真の給付型奨学金制度など、子育て・教育の予算を拡充し、子どもたちが将来に夢をもてる、そのために学べる環境をどんなこととしても手に入れない限りはならない。
- 多様性の重視** 私たちはどれだけ自分らしく、私らしく生きているだろうか。私たちの社会はたくさん壁がある。「男女格差」「障がい者差別」「ハイトスピーチ」「性的少数者への迫害」は今も目の前にある。選択的夫婦別姓すら、許されない社会を野放しにしてはいけない。私たちはすでに多様な社会で生きているのだから、多様な人々が政治に参画し、社会を変えよう後押しをしたい。
- 平和を守る** 戦争は始まると止まらない、無傷では終わらない。先の大戦の終わりは原爆投下だった。ウクライナ、ガザでは多くの生命が奪われ続け、治療の薬や食料、水さえない。こちらが予算を増やせばあちらも増やすのが安全保障のジレンマ。「台湾有事は日本有事だ」と危機を告げ、防衛予算を増やすのは止めなければならない。緊張を解消する平和外交こそが大切だ。

経済の回復 1000兆円を目標とする経済成長、GDPを押し上げるには、民間企業を元気にし、消費を促す必要がある。自民党の腐敗政治は、民間企業を元気にし、消費を促すことができない。私たちが安心して生活をはざごったのは、自民党の腐敗政治です。働く人の最低賃金を引き上げ、中小企業への税制優遇を通じて、全ての人の雇用を守り、賃金の底上げから始めたいといけません。

医療の強化 年齢を重ね、いくつもの病院を受診せざるをえないのに高騰する医療費、介護保険、後期高齢者保健と支払いが増え、どんどん厳しくなる介護の認定。何年も待つ特養。介護・介助職員は、賃金低による人手不足。まるで長生きが罪のように感じさせる社会。安心して老いることを奪い続けるのは、命の軽視です。医療が必要な人、それを支える人、両者を支えるのが政治です。

環境の保護 この夏の異常な暑さで、それに伴う電気代の高さ、野菜の高騰。温暖化のために、タコやワニの値上がりのような高くなっていく負のスパイラル。環境問題は経済問題であり生存問題です。気候変動対策は、未来の世代に対する責任です。原発ゼロ、再エネ100%の脱炭素社会を目指し、雇用と環境を守ります。待ったなしです。

私たちがらしく生きられる社会をつくる

自己責任ではなく「公助」、「共助」で安心して生活できる社会をつくる

なぜこんなにも普通に生きていくことに不安を感じるのでしょう。それは普通に働いた賃金で子どもを育て学校に行かせ家を建て老後に備えることが容易ではなくなっています。どんな事態(病気、事故など)に遭遇するかわかりません。非正規雇用が増え不安定にも関わらず、自己責任が強調され、納めた税金が、教育、子育て、医療、年金、介護、福祉など、誰もが必要とする公的サービスに十分配分されていません。個人では解決できない課題を克服するのが「公助」「共助」であり、その仕組みを充実させることで、一人ひとりの尊厳と安心を保ち、全ての人が夢と希望を持って生きられる社会をつくるのが政治の役目です。



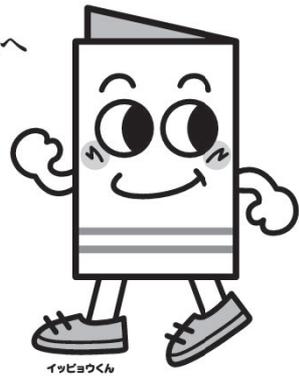
立憲民主党公認 近藤 昭一

こんどう しょういち

衆議院議員 総選挙

響かせよう あなたの意志を 国政へ

投票日 10.27



投票時間 午前7時から午後8時まで 投票時間は、離島・山間地等の一部の投票所では異なります。

投票方法 小選挙区選挙 候補者名を記載して投票します。 比例代表選挙 名簿の届出をした政党その他の政治団体の名称又は略称を記載して投票します。

期日前投票は10月26日(土)まで

投票日に予定のある方は「期日前投票制度」をご利用ください。 詳しくは、お住まいの市区町村の選挙管理委員会におたずねください。

この選挙公報は、愛知県選挙管理委員会のホームページからご覧いただけます。 ホームページアドレス <https://senkyo.pref.aichi.jp/>

政治家のための政治から

国民のための政治を取り戻す!

ごく普通の家庭に生まれ、民間で改革を実行してきました。

元外資系外交員、ファイナンシャルプランアドバイザーとしての経験を生かし、国政の改革に取り組みます。

①【教育無償化】など、こども、将来世代への徹底投資

- 家庭の経済状況にかかわらず、等しく質の高い教育を受けることができるよう、義務教育のほか、幼児教育、高校、大学の教育の全課程についても完全無償化の実現を目指します。
- 小中学校の給食費無償化を目指します。
- 子育てしながら働くお父さん、お母さんの環境作りの徹底。(育児保育等の徹底)
- ひとり親に対する手当の所得制限緩和を目指します。

③ 身を切る改革の徹底。そして、しがらみのない政治へ(既得権の打破)

- 政治を行うものこそ、自らに厳しい姿勢が必要です。
- 消費税を一歩最大8%を目指します。
- 親世代に不利な制度は徹底的にすべて見直す。高齢者医療制度の適正化による現役世代の社会保険料負担軽減。年金は基本改革して積立方式または基礎所得補償制度を導入する。
- ガソリン税の暫定増徴(14名あたり25.1円)の廃止及び、二重課税(ガソリン税に消費税を課税する事)の廃止。

② ペットも安心して暮らせる日本

- ペットと共存できる街を目指します。(賃貸物件でもペットと暮らしやすい環境整備)
- 全国で犬、猫の殺処分ゼロを目指します。
- 災害時、ペットと一緒に同じ空間に避難できる環境を整備します。



みながわ
皆川
まさかず
43歳
日本維新の会 公認

プロフィール

大阪産業大学附属高等学校 卒業
高校時代クリスマスボウル優勝
アメフト日本一西日本選抜 大阪選抜
雑誌「Tarzan」No.700 優秀賞
ベストボディジャパン出場

高校卒業後、名古屋に移住し、
外資系外交員等に従事
元愛知新聞の選挙事務局員
外資系外交員
ファイナンシャルプランアドバイザー
の経験を生かし、こどもから高齢者、
国民誰もが住みやすい、こどもが
育ちやすい街をつくることを決意。

日本保守党 日本を豊かに、強く。

大橋とおる プロフィール

生年月日
1964年11月5日(59歳) 昭和区生まれ

経歴
名古屋市立川原小学校、川名中学校、愛知県立東郷高校、南山大学経営学部経営学科卒業後会社員を経て1994年より学習塾経営、併せて(株)新・中統 統計部長・監査役、一般社団法人社会人基礎学力検定協会理事、名古屋市会計年度任用職員緑区選出議員も歴任。現在は南山大学後援会理事。

地域活動
名古屋市立東丘小学校PTA会長、東嶽中学校PTA会長、名古屋市区政協力委員・災害対策委員、東丘第5-3自治会自治会長、東丘学区連絡協議会副会長、東丘子ども会育成協議会会長、緑区地域環境審議会審議委員を務める。

- ## 日本保守党の8つの重点政策
- 日本の国体、伝統文化を守る
 - 安全保障(憲法改正、自衛隊法改正等)
 - 減税と国民負担率の軽減
 - 外交(価値観を共有する国とのさらなる連携強化)
 - 議員の家業化をやめる
 - 移民政策の是正一國益を念頭に置いた政策へ
 - エネルギーと産業政策(再エネ賦課金廃止等)
 - 教育と福祉(公立高校入試廃止等)



推薦人 総理をねらう男 アゲイン!



日本保守党 公認
大橋
とおる

衆議院議員総選挙

投票日

10.27

日

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票時間は、離島・山間地等の一部の投票所では異なります。

投票方法

小選挙区選挙

候補者名を記載して投票します。

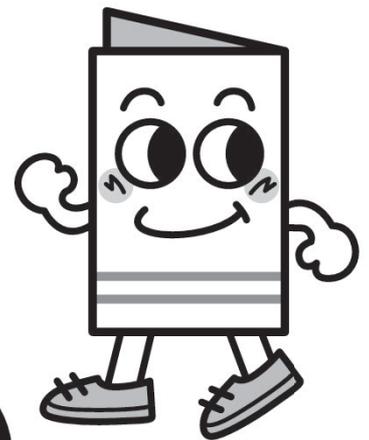
比例代表選挙

名簿の届出をした政党その他の政治団体の名称又は略称を記載して投票します。

この選挙公報は、愛知県選挙管理委員会のホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス

<https://senkyo.pref.aichi.jp/>



イッピョウくん

期日前投票は10月26日(土)まで

投票日に予定のある方は「期日前投票制度」をご利用ください。詳しくは、お住まいの市区町村の選挙管理委員会におたずねください。

響かせよう あなたの意志を 国政へ